

葛飾区立東綾瀬小学校



本校では、中学年の総合的な学習の時間において「地域社会 障がい者理解」をテーマに据えて学習を進めています。今年度は「アイマスク体験」「手話体験」「盲導犬出前授業」「車椅子体験」の4種類の活動を行いました。

「アイマスク・ガイドヘルプ体験」では、アイマスクをつけ、白状を使って歩いたり、アイマスクをつけている友達を案内したりしました。視覚が不自由な方の困ることやしてほしいことなどを、体験を通して考えることができました。

「手話出前授業」では、手話でのあいさつの仕方や普段の生活の様子などを教えていただきました。自分の名前を手話で表現したり挨拶したりして、手話に興味を持つことができました。

「盲導犬出前授業」では、盲導犬の訓練の様子や普段の生活の様子などを教えていただきました。盲導犬はパートナーとしての過ごし方や、ハーネスを付けているときに注意することなど、具体的な話を聞くことができました。

「車椅子体験」では、実際に車いすに乗って、自分で動かしたり、友達に押ししてもらったりするなどの体験を行いました。車椅子を押す際に気を付けることや段差を越えるときの難しさなど、体験を通して考えることができました。

4つの体験活動から、自分たちで興味をもったことについて、本やインターネットを活用して調べ学習を行いました。調べ学習を通して、自分たちにはどのようなことができるのかを考え、リーフレットにまとめ、廊下に掲示したり、本校の3・5・6年生・保護者に発表したりしました。